

三 研修 第1回教員向け研修2021

わたしが変わる 社会が変わる 未来が変わる

2021/8/2

伊那市いなっせ7F

ファシリテーター 伊沢令子 (NIED)

座席 3~4人 × 4テーブル 13人

「聞く」以外の全ての感覚を使って研修。双方向のアクティブラーニングを目指します。

1. アイスブレイキング

① 4つのコーナー

4択の質問に対して教室の4つのコーナーに移動して答える。

- ・好きな季節 ・好みの麺類 (ラーメン・うどん・スパゲティ・ほか)
- ・平和かどうか (全くそう思わない・あまりそう思わない・まあまあそう思う・そう思う)
- ・20年後が平和かどうか

- ・体を動かしながら・・・
- ・意欲的に研修にきているので、研修テーマと近い質問があってもいい
- ・フェーズを変えた質問を入れていた 一緒だ～

② 仲間あわせ

答えが一緒の人と仲間になろう

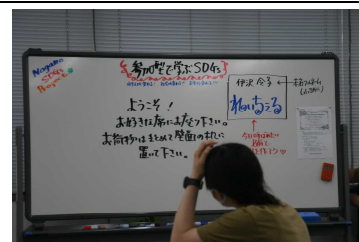
- ・好きな寿司ネタ ・好きな花 (参加者が決めた条件)

- ・理由を聞いてみると、参加者の食欲さや謙虚さなどが感じられた
- ・自分たちで条件を決めるのは参加型になっていい

③ バースデーチェーン

誕生日ごとに輪を作る。テーブル番号を伝えて、バラバラになるようにグループ作り。

- ・始めに座った席には「男子・女子」の偏りが見られた。
- ・依田・木下・両角はあえて別の席に座ったのにもかかわらず、このバースデーチェーンによって偶然1カ所に集められた。



2. 紹介3つのキーワード

① 自己紹介 10:28~40

記入3分 紹介1人1.5分×4~5

準備品 名刺カード 名刺紙 マジック (紙用マッキー)

紙に自分のことを表す3つの言葉を書き、それを使いながら自己紹介をする。

- ・両角は「パンダ・平和祈念館・難民映画祭」にした。挫折・更新したことを紹介した。
- ・ファシリテーターもこの90秒で紹介できるので、素晴らしい。

3. 社会を振り返る 10:46~10:56

① グローバル化の恩恵

人・お金・もの・情報・技術 (速く・多く・大量に) → グローバル化

●真ん中に「恩恵」とかいて、派生図を書いていく。(5分)

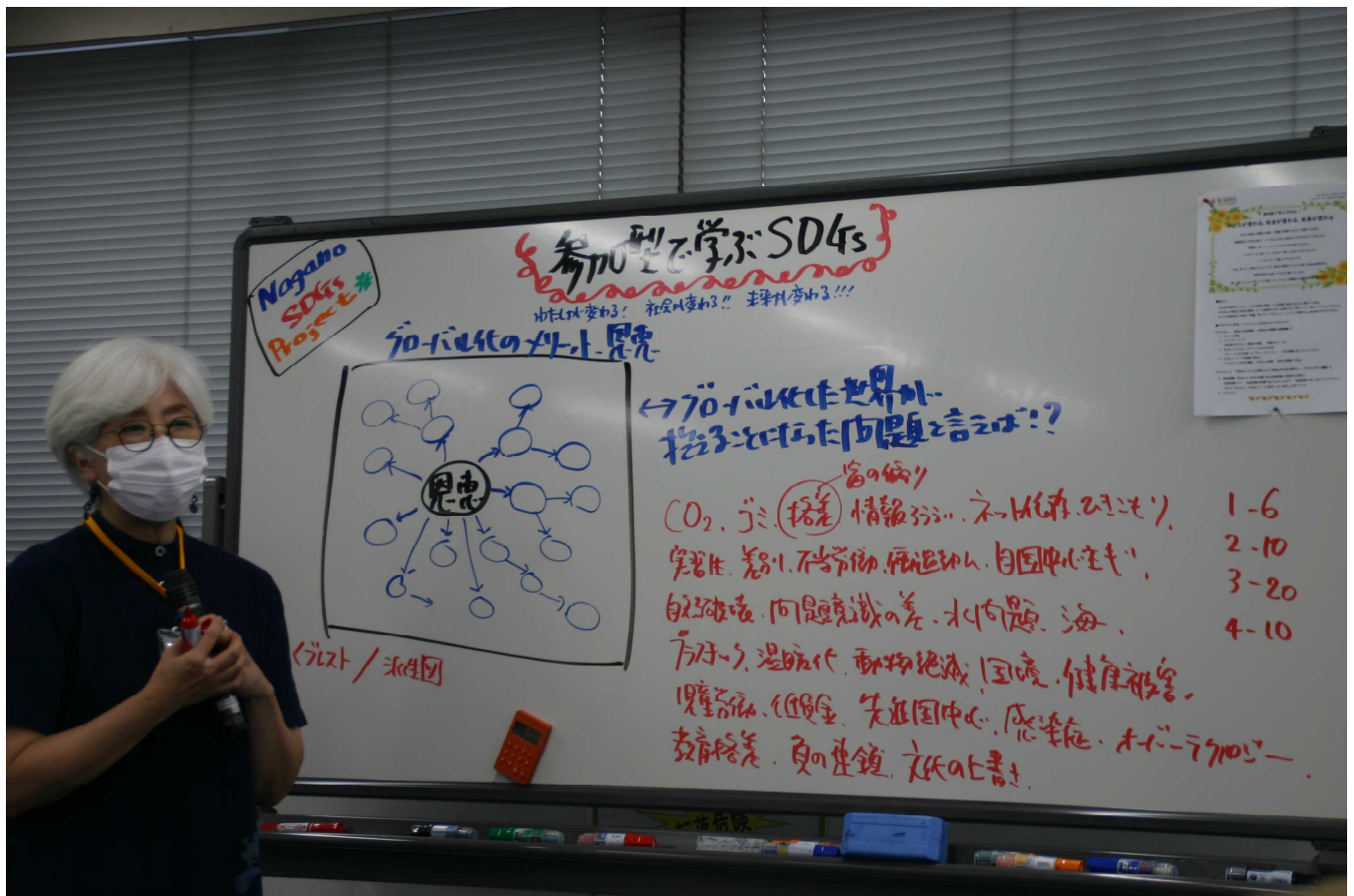
- ・伝えて書くようにする。
- ・共同作業 他の人の書いた物に付け加えていく 同じペンの色がつながらないでカラフルな結果を

- 切り口を変えてかき足す <立場を変えて・テーマを決めて> (3分)
→発表・回し読み・ギャラリー(人が動く)の3つの方法があるが、今日は回し読み
- 回してよんでいい意見に☆をつけよう
「それいいね!」という雰囲気 肯定的な風土づくり
- 発問「鎖国したらどんなことに困ってくる」
完全自給の人は困らない お店に頼っている人は困る。
大豆の自給率は3% 相互依存が大切になる

・フェースを変える「時間」だけではなく、立場をかえる、テーマ(条件付け)をきめるなど、ゲーム作りにも用いているなど感じた。前回の研修→「子供、お年寄り、多国籍、障がい者などの立場」「衣食住・教育などの切り口」
・「グローバル化」と「鎖国」の対比がわかりやすい。「循環」と「分断」、「大規模」と「小規模」など、対比させて考えることは思考を助けると思った。

②グローバル・イシュー

- 派生図の4隅に問題を書き出していく。
- 多かった班に発表してもらおう
- まだ他の問題について他の班に発表してもらおう



社会課題と私たちのつながり

E S D 環境と人権	2 : 8		2 : 8	人口
SDGs は1国ずつじゃ無理だからみーんなで!	8 : 2	→	8 : 2	富
	7 : 3		7 : 3	エネルギー

4. SDGsの理解を 11:25~12:30

- ①席替え + 今はまっていること&どういいのかお勧め 5分
- ②現状はどうなっているのか、データの的に把握しよう
 - ・資料を読んでみてわかったこと
 - ・印象に残ったことを教えあおう

・「目標が先にあったわけじゃない。現状を理解していく。」という言葉が印象的だった。
 ・SDGsのデータを全て暗記しているわけではないので、何回やっても勉強になる。

- ③SDGsカードを使って 11:50~12:09
 - 模造紙の上に広げます
 - 説明が裏に書いてあるので1人1枚担当になって要約・20秒で紹介します。
 - これを3回ほど繰り返します。

・慣れてくると先入観や思い込み、知識が邪魔する。謙虚に読むように意識した。
 ・裏面の説明は学習指導要領の解説のように、「こういう目標だけ」「こういう実態があって」「こんな課題を抱えているけど」「こんな風に目標に向かっていくから」「こういう場を設定して」「こういう活動を仕組むとよい」何て感じでわかりやすい。

- 分類してみよう 12:10~12:30
 分類して、カテゴリーに分けてみる。表札をつける。

・自分の班は純粋な人たちが多かったので、自分たちなりに考えていた。
 ・知識がある人は、「環境」「経済」など出分類していた。



こんな分け方もありますよ・・・
 といって5つのPを紹介した。

午前終了

5. 緊急課題 13:36~13:50

- ①自己紹介 自己理解を進める人こそ他の人に関心が持てる
 内発的な思い 問われて気づく → 行動に移れる
 教えられても行動にはつながらない

②先進国の優先課題トップ3 & 開発途上国の優先課題トップ3 を選ぼう
 各班で選んだものを発表

日本				開発途上国			
5	10	12	9	4	6	1	8
14	13	7	17	2	3		



どちらの国にも関
 わるのがSDGs

生きる基盤

MDGsの時には開発途上国
 だけだった

子ども委員会もたくさんの課題を出して、SDGsを決めた

③個人の課題 と 地域、日本、世界の課題を繋げる

気になる課題とSDG sを繋げよう

- 自分の最近感じている課題を考える それにSDG sの番号を割り当てる
- お互いに発表

グループ内の様子

3 コロナ禍

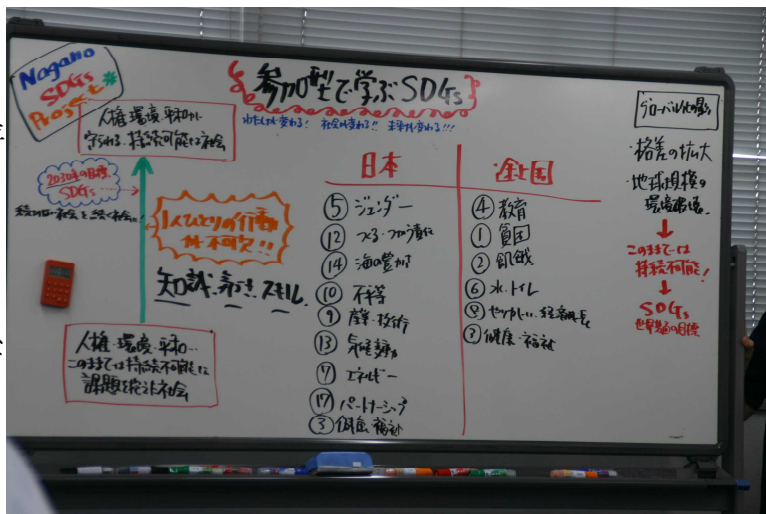
8 (依田) 色々な職業、芸能人の仕事、人前に出るプレッシャー、教員も本人のやりがいに頼っている

3 9 3 (自分) コロナによる人間関係の分断 飲み会や懇親会がない

④気象変動クイズ 一斉に同じ問題

- クイズプリントを配り、各班で考える
- ・産業革命以降の約130年間で、地球の平均気温はどれくらい上昇したでしょう。
- ・気候変動の原因は何でしょう。
- ・気候変動によって住む場所を追われる人々は毎年何人くらいいるでしょう。
- ・気候変動による災害や被害にはどのような物があるでしょう。

※クイズを出し、答えを聞いて、気づく



※知識と気づきとスキル

知識 知っているから行動できる 知らなかったら行動はしない。

気づき 危機感を感じると動く 自分事になっていない人は行動しない

スキル わかっているし何かやらなきゃいけないけど何をしたらいいかわからないと動かない

スキルトレーニング 意識化して=やってみる

●答え合わせ

●知識の補填 資料プリント

班のアイデア

- ・高潮・ハリケーン 海面上昇・干ばつ
 - ・森林火災・新たな感染症・熱中症・生産物
- 知識や定義

IPCCの第5次報告書を紹介

この報告書からは作った人の怒りを感じる

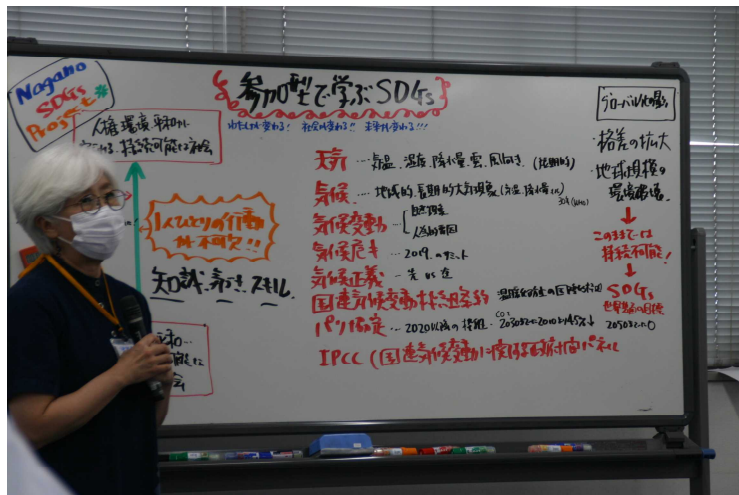
「あれだけ言ったよねー」

「どういうこと？」

「もう知らない！」

地球環境ウォッチをしている

現状を把握する機関で信憑性がある



- ・ICPPの報告書を勉強したい
- ・ICPPの報告書の文脈を読み解きたい

⑤ロールプレイ 「困ってます」 14:35~

- 各班に配られた5人のキャラクターになりきって演じる 5分読む

・〇国の〇さん ホッキョクグマ ほか

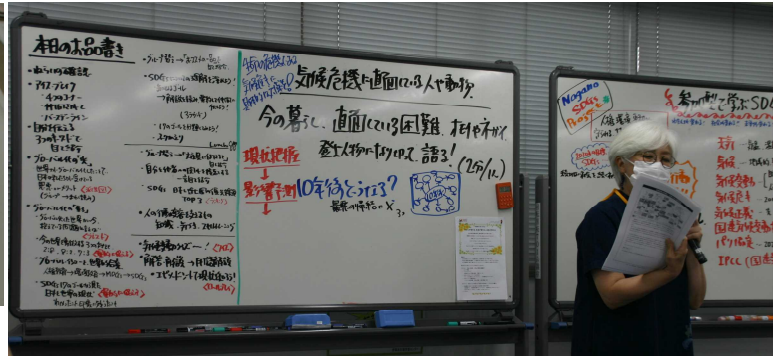
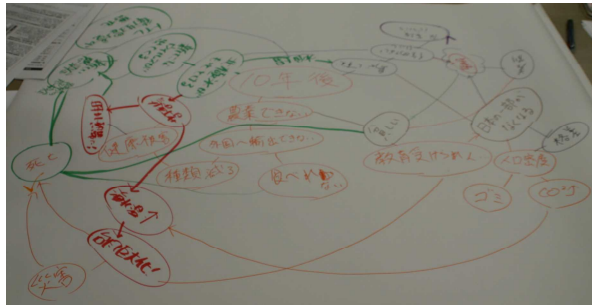
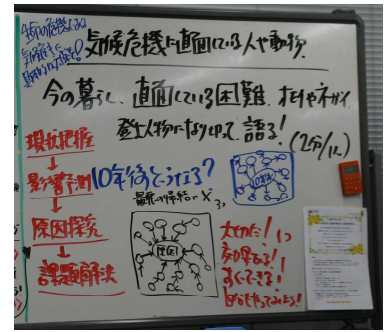
- 配られた資料を要約し、自分事として気候危機に直面している人や動物の物語を伝える

2分発表×5人

・ゲーム「SDG s総選挙」でも生かせそうだ。「どのような施政方針か」よりも、「怒り」や「苦しみ」など感情的なストーリーがあった方が、ロールプレイとしては面白そうだ。

⑥派生図と原因 「10年後予測」 14:51

- 模造紙の真ん中に「10年後」と書いてどんな影響があるか書き出す。
- ・自分に影響あるな → 気候変動は誰が起こしたか
- 真ん中に原因とかいて、逆に原因を探る（今回は割愛）
原因の原因の原因あたりで、自分と多く関わり合う事柄が出てくる
- やってみよう を 考えよう
- ・やってみたら、「一週間忘れないでいたいことは？」
「やってみた？」と意識化していくことが大切



⑦まとめ やってみるアイデア

- ・これは大切だ！はどれ？何番？
- ・効果があるな！はどれ？何番？
- ・これはすぐできる！はどれ？何番？
- ・これはやってみたい！はどれ？何番？

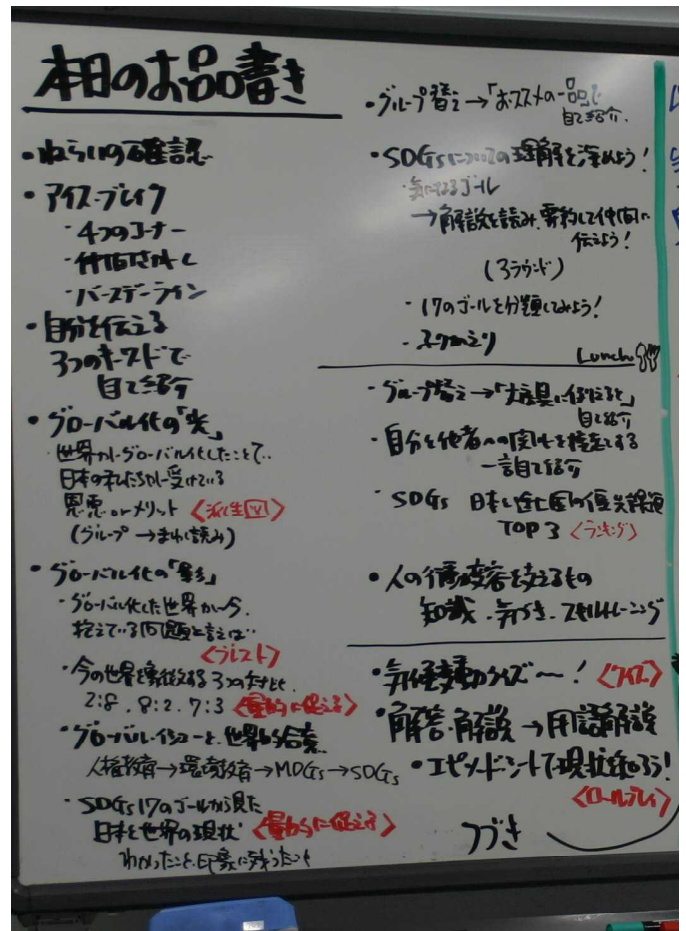
6. 総括

・「フェーズ（局面）が変わった」といくら言っても、全然伝わらない。やはり、「平均気温が1.5℃と2.0℃では、これだけ違う」と、数値化して示すことは大切だと思った。そういう意味で、IPCCの報告書は大切にしたい。

・同じように「10年後の状況」と「30年後の状況」のフェーズを数値化し、分岐点として「2021年」を自覚させる資料を探したい。

・自分にできることは現職の教員を啓発することだと思うので、特に総合的な学習とクロスカリキュラムでの学び、校務分掌の見直しを自己課題として課したい。

・バックキャストでコロナ禍も熱中症も捉え、「休校」「部活停止」「無言給食」などについて、何もできない部屋で膝を抱いてうずくまっていることのないようにしたい。 M



これまでに参加したことのない人向けとありましたが、何度参加させていただいても、学ぶことや感じるものがたくさんありました。2年前に初めて参加したときより、地球の状態や世界・日本の状態は悪くなっているように感じます。実際に悪くなっている部分もあるでしょうし、私自身の危機意識が変わってきたのもあるかもしれません。今回も参加させていただけてよかったです。ありがとうございました。 Y